



Nursing in TOKYO

会報 看護  
とうきょう

2023.March

Vol.136

特集 高齢者看護と地域連携

保助看 輝け！プラチナ世代



公益社団法人  
東京都看護協会  
TOKYO NURSING ASSOCIATION



会員の皆様には日頃より東京都看護協会の活動にご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。社会は日常を取り戻しつつありますが、未だ新型コロナウイルス感染症による危機管理体制と予断を許さない状況が続いております。この場をお借りして、あらゆる現場の皆様にあらためて、敬意を表しますとともに心より感謝を申し上げます。

昨年は日本看護協会の要望活動の成果により、国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表の改正が発表され、「看護師のキャリアアップに伴う処遇改善」が大きく動き始めました。令和5年度も地域の人々の健康を守る看護職への支援と、看護を正當に評価する処遇の改善に向けた活動を引き続き進めてまいりたいと思います。

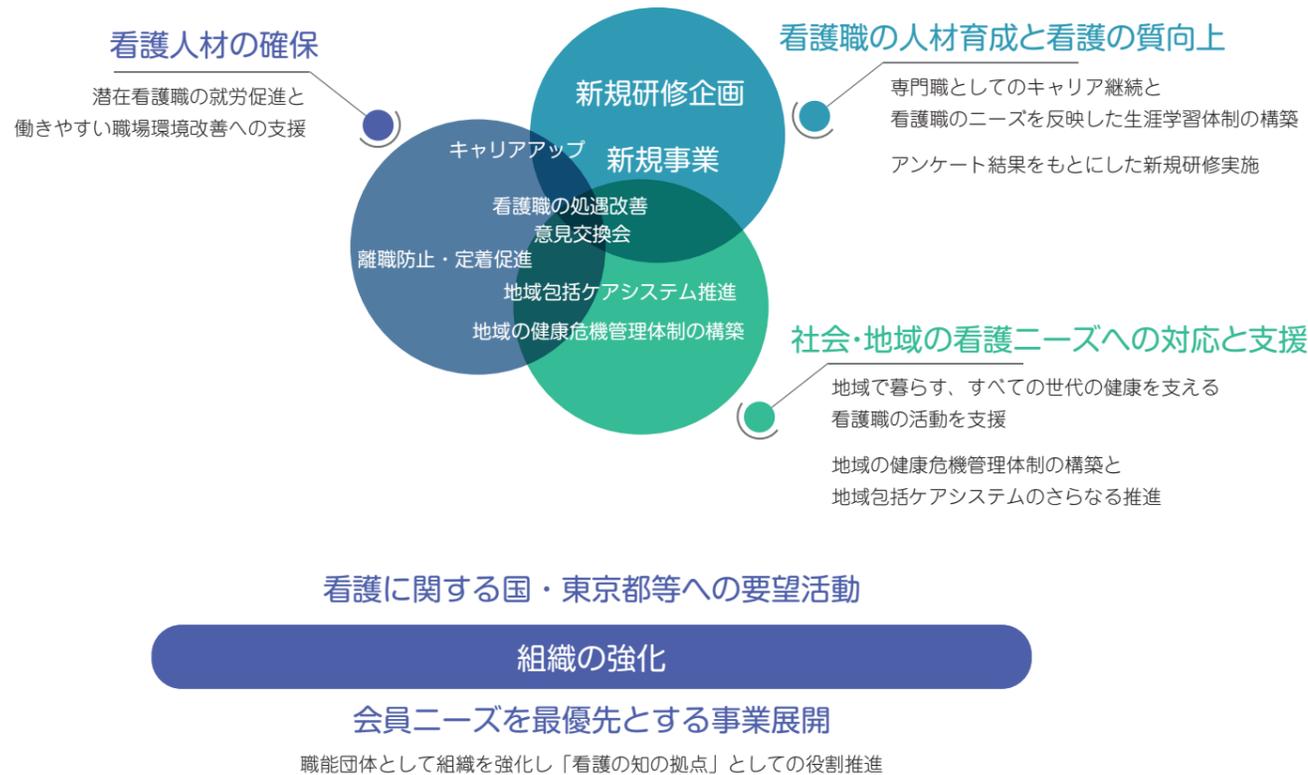
また、昨年10月に実施したアンケート結果にお応えできますよう、令和5年度は5つの新規研修・事業を企画しております。こちらはウェブサイトやツイッターでご案内してまいりますので、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

これからも会員の皆様の情報交換や交流の場となるよう進めてまいりますので、ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

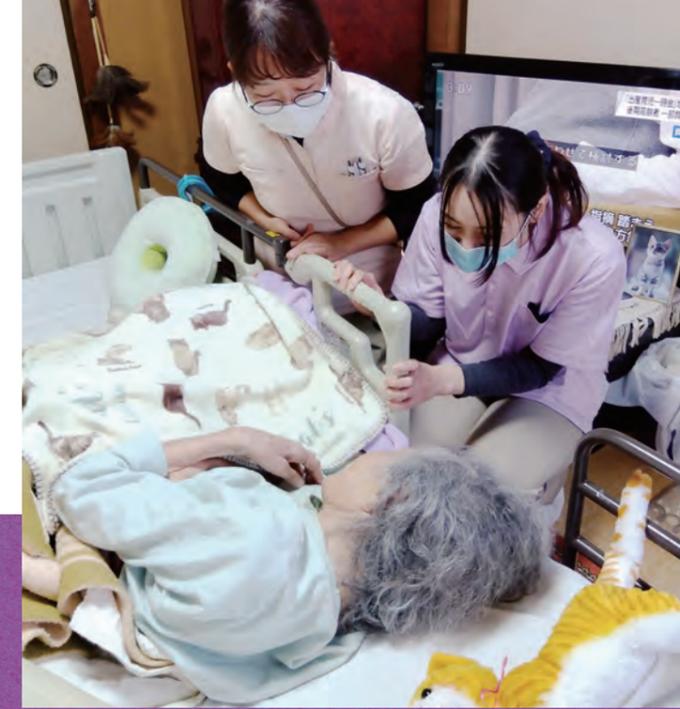


公益社団法人東京都看護協会  
会長 柳橋 礼子

令和5年度事業運営方針



東京都健康長寿医療センターでは、看護師が働きながらスキルアップを目指す「高齢者看護エキスパート研修」を実施しています。3期目に導入された「訪問看護ステーション実地研修」は、研修受講生に強いインパクトを与え、その後の仕事にも大きな影響をもたらしたようです。今回はこの「訪問看護ステーション実地研修」について、「スタッフを送り出した側」「受け入れた側」「研修プログラムを作った側」のインタビューをご紹介します。(こちらはダイジェスト版です。フルバージョンはweb版でご覧いただけます)



特集 高齢者看護と地域連携

急性期のナースが在宅看護で研修しました!

「東京都健康長寿医療センター」と「東京都看護協会立城北看護ステーション」の取り組み



フルバージョンの記事はこちら  
<https://kain-tokuten.tna.or.jp/tokushu/>

想像を超える変化でした

東京都健康長寿医療センター  
看護部 副看護部長 成田由香さん  
看護部 研修教育担当 綾村可歩理さん



送り出した人

研修から戻った看護師たちの表情がキラキラしていました。今までは「退院はちょっと難しいんじゃないかな」と転院や施設入所を考えていたようなケースも、「どうやったらできるだろう?」と、自ら考えて支援できるようになったのが最も大きな変化です。視野が広がり、退院後の生活がイメージできるようになったのだと思います。想像を超える変化でした。

衝撃を受けていたのは、病棟看護師だけではなくありません。研修前から、自宅生活について考え、退院時には自宅まで付き添っていた「在宅支援室」の看護師でさえ、「こんなふうに住んでいるんだ」と驚いていました。私たちも改めて「生活を見ることの大切さ」を再認識しました。

生活の見える看護、顔の見える地域医療

東京都看護協会立城北看護ステーション  
所長 竹内里絵子



受け入れた人

患者さんの「病院にいるときの顔」と「家にいるときの顔」は違います。また、核家族化の影響もあり、お年寄り暮らししたことのある20~30代が以前より少なくなっています。今回、急性期の看護師が在宅の現場を見ることで、独居の方、生活保護の方、精神疾患の方などがこうやって暮らしてきたんだな、と肌で感じてもらえたと思います。

急性期病院の看護師に在宅医療の視点をもってもらえたことで、連携がしやすくなり「顔の見える地域医療」ができるようになりました。これは、私たち医療職だけでなく、患者さん(利用者様)、さらには地域全体にとって大きなメリットがあると感じました。

地域を知らない急性期看護はできない

東京都健康長寿医療センター  
看護部 看護部長 太田日出さん



研修を作った人

せっかく病気が治っても、「段差があるから」「1人暮らしだから」と、医療者が退院するのを諦めてしまっていました。ご家族も、「看護師さんが無理って言っているから」と諦めてしまう。当事者である患者さんは、自宅に帰りたくても受け入れるしかない、という場面を数多く見てきました。

でも、家っていいですよね。今回の研修で、「1人で大変だけど、段差があっても不便だけど、家で過ごせて幸せ」という「生活者としての患者さん」を感じてもらえたと思います。そして、研修生たちには、それを「伝えてくれる人」になってほしい。そこから病棟全体が変わり患者さんの表情が変わり、急性期看護が大きく変わると信じています。

「高齢者看護エキスパート研修」……東京都健康長寿医療センターが平成29年度から行っている研修。高齢者看護のエキスパートを育成する目的で、5年以上の看護師が、1か月に1回の研修を受け、約1年半かけて、高齢者医療や倫理的な課題、他職種との協働や事例研究、リーダーシップなどを学ぶ。

## 高齢者・認知症看護をスタンダードに

順天堂大学医学部附属  
順天堂東京江東高齢者医療センター  
<https://hosp-gmc.juntendo.ac.jp>  
看護部 看護師長 河又恵子



当医療センターは、404床の急性期病院のなかに129床（3病棟）の認知症関連病床をもつとてもユニークな病院です。名前に「高齢者」と入っていますが、産科・小児科を除く一般成人の診療を行っています。2002年開院時から、高齢者の急性期医療、認知症の早期発見・診断治療および合併症医療に取り組んでいます。複雑な病状と生活上の問題を抱える高齢患者さんに対して、看護師、医師、MSW、リハビリテーション科など多職種で検討し、地域の担当者とともに患者さんの望む生活実現に取り組んでいます。また、認知症疾患医療センターと協力して、認知症カフェや認知症対応力向上研修、認知症サポーター養成研修を開催するなど、豊富な看護経験を発信し、地域の皆さんと連携を図っています。

認知症カフェ



### 東部 地区支部



## 地区支部だより

地区支部だよりはスマホやパソコンでも！  
<https://www.tna.or.jp/kyokai/branch/>

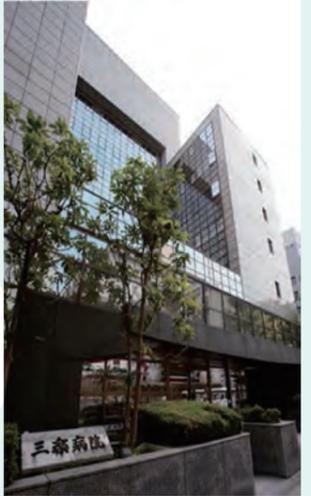


## 質の高い看護を提供できる 職員育成を目指して

公益社団法人  
東京都教職員互助会三楽病院  
<https://www.sanraku.or.jp>  
看護部 部長補佐 西堀光重



### 中部 地区支部



### 西部 地区支部



介護福祉士・看護補助者のスタッフたち

## 当院自慢の 介護福祉士・看護補助者たちです

一般財団法人自警会東京警察病院  
<https://www.keisatsubyoin.or.jp>  
看護部 看護部長 大沼扶久子



当院は一般急性期病院で、最寄り駅は中野駅になります。看護要員数として2023年1月1日現在看護職（助産師・看護師）483人、介護福祉士・看護補助者43人の計526名で外来・病棟の患者様の看護実践を行っています。今ご紹介したいのは当院の介護福祉士・看護補助者の面々です。日夜看護業務の負担軽減のみならず、患者さんの療養環境を最適にするためすばらしいリーダーシップを発揮し素敵な笑顔で日々活動しています。今やなくてはならない存在です。私たちの自慢のスタッフです。

### 多摩北 地区支部



リフレッシュデー



## 働き続けられる職場を 目指して

地方独立行政法人 東京都立病院機構  
東京都立多摩北部医療センター  
<https://www.tmhp.jp/tamahoku>  
看護部 看護師長 小林承子



## どんなときでも頼れる病院を目指して

日本赤十字社医療センター  
<https://www.med.jrc.or.jp>  
看護部 看護部長 川上潤子



当センターは、渋谷区・目黒区・世田谷区を中心とする二次医療圏で中核病院の役割を担っています。とくに、小児・周産期医療、がん診療、救命救急、災害救護を診療の4つの柱として力を入れ取り組んでいます。その柱の1つである「災害救護」では、12月にdERU（国内型緊急対応ユニット）の展開訓練を行いました。dERUとは、仮設診療所設備や診療資材が入った大きなコンテナとそれを運ぶトラック、救護員、それらを運用するシステムの総称です。実際にエアテントの設営、簡易ベッドや診療材料の配置など、被災地での診療を想定し、本番さながらに訓練を行いました。当センターでは、4つの柱を中心に、これからも地域に貢献できる病院を目指していきます。



エアテントの設営

### 南部 地区支部



訓練中の様子

当院は法人内に介護老人保健施設、訪問看護ステーションを併設し、東京都指定二次救急医療機関として急性期医療を中心に、出産、慢性期、在宅まで、さまざまなニーズに合った医療を提供しています。「あなたでよかったと思われる看護を提供し、そのことに誇りをもてるよう自己研鑽に努めます」の看護部理念のもと、安心と満足できるケアが提供できるように努めています。現在は、「もっと患者さんに興味をもとう！」を合言葉に、患者さんのことをよく知り、患者さん・ご家族の希望に沿い、納得いく退院につなげることができるよう、退院支援の充実に取り組んでいます。

## 患者さんにもっと興味をもって、 満足できる退院支援を

医療法人社団桐光会 調布病院  
<https://www.tokokai.or.jp>  
看護部 副院長兼看護部長 長谷部美津代



### 多摩南 地区支部



病院内



今年から統括保健師となり統括をする立場です。みんなのモチベーションを引き出すために「時間をかけて了解を得ながら話を進めること」を意識しています。自分の役割は「スタッフが自分で考えて意見を持ち、チームで協働して前を向いて仕事ができるように環境を整えること」だと思っています。実際は統括未満なのかもしれませんが、みんなが安心して活躍し、成長を感じながら仕事ができるように裏方で支えるような自分でありたいと思っています。「自らの考えをもち、仲間とともに切り開く力」をもった若いスタッフを育てていきたいです。

若いスタッフが自主的に考えて動く職場にしたい



保健師

今泉厚子さん

荒川区保健所  
健康推進課

本がたまらなく大好き!

輝け!  
プラチナ世代

保助看

記事全文はこちらで



<https://kaiin-tokuten.tna.or.jp/hojyokan/>



産科を定年退職し、現在は保健所で「妊婦面接」の仕事をしています。産科とは異なるフィールドですが、数え切れないほどの出産に立ち会ってきた経験が活かされていると感じる場面がたくさんあります。

保健所は、妊婦面接、健診、保育課と、多くの部署で母子と長くかかわっていくので、ちょっとした違和感などでも、できるだけ記録に残すように心がけています。

私は助産師の仕事が大好きです。赤ちゃんがこの世に生まれようとする力と産婦さん自身の新しい命を生み出す力を信じて、多くのお産に携わってきました。若い方に「助産師になりたい!」と思ってもらえるよう、今後も魅力を伝え続けたいと思っています。

い方に「助産師になりたい!」と思ってもらえるよう、今後も魅力を伝え続けたいと思っています。

「人」を助けられるのは、結局「人」です



助産師

今井洋子さん  
東京都看護協会  
子育て支援委員会委員長



疲れをとるにはやっぱり旅が一番!

医療機関を定年退職し、現在は老人保健施設で働いています。「介護現場のほうがゆったりしている」という勝手なイメージがありましたが、「看護職は自分だけ」という時間帯での急変など、誰にも頼れない状況でスピーディな判断や指示を求められることも多いですね。また、「認知症」の方に対する対応などは、医療従事者全体、社会全体が取り組むべき課題でも感じています。

約40年、看護師として働いてきて、看護の仕事の素晴らしさはもちろんですが、ライセンスとしての強みも感じています。定年後も働く場所がたくさんあり経済的な安心感もあります。若い方にもぜひ、長く続けて欲しいと思っています。私が感じる「長く続けるコツ」は、「頑張りすぎないこと」と、「困ったときには誰かに頼ること」です。

病院での経験を生かし介護の現場へ



看護師

篠原祐子さん

介護老人保健施設  
サンセーブル世田谷大蔵

着物姿でお茶を点てるのが、もう至福!



東京都  
ナースプラザ  
だより

2022  
11/12  
sat

おかげさまで約400名のご参加をいただき、大盛況のイベントとなりました。たくさんの方々のご参加、ありがとうございました!!



看護のお仕事応援フェア  
を開催しました!



就職相談コーナー

就職相談会には、都内の病院・福祉施設など98施設が参加。



ナースプラザ

参加者の声  
自分の今の状況とスキルで、どう働き方ができるのか、具体的に知ることができて、いろいろな道が見えてきました。少しだけ不安なくなりました。

実技体験コーナーでは最新の看護の知見に触れ、手技を体験!

実技体験コーナー

参加者の声!

最新の経腸システム、輸液システムを体験できてよかった。採血を体験したのは20年前が最後なので、今の新しい針や固定具の扱いを体験することができたのは貴重です。針を扱う業務に戻れるか不安だらけでしたが、少し前向きに考えられました!



相談コーナー

相談コーナーでは「プラチナナース支援」「就業・資格取得」「就業・定着奨励金」の3つのブースで相談対応。

参加者の声!

今後、看護職を続けるためにどうしたらよいか悩んでいたのですが、とても有意義な時間をもてました。看護職を続けていく決心和方向性が見えました。

定年退職後も奨励金のチャンス

奨励金ブースでは、未就業者の相談が多いなか、「これから定年退職を迎えた後、再雇用の場合には『奨励金』の対象にならないの?」とご質問がありました。現職中に対象研修の受講をして、再雇用となれば支給要件の2つをクリア、とご説明すると、「対象研修はいつ?」と定年退職後も前向きに! 「ずっと、看護職」を応援しています!!



# 令和4年度 秋の叙勲受章者

受章おめでとうございます

敬称略

旭日小綬章 きくち れいこ 菊池 令子 元 日本看護協会副会長

見て 聞いて 体験して 相談もできる

## 第21回 看護フェスタ



東京看護協会 会館にて  
初開催!  
参加費無料

会期 2023.5.13(土)  
12:00~16:00

## 公益社団法人東京都看護協会 役員等の選挙について

令和5(2023)年6月22日(木)に開催される「令和5(2023)年度通常総会」の終結をもって任期満了となる役員及び推薦委員について、下記により選挙を実施いたしますのでお知らせいたします。

### 選挙期日

令和5(2023)年6月22日(木)

### 場所

公益社団法人東京都看護協会会館 1階大研修室1A・1B

### 立候補受付について

役員等に立候補又は推薦する委員は、他の5名以上の会員の推薦を受けて、所定の様式(立候補届出書・立候補者推薦届)に必要事項を記入の上、令和5(2023)年4月3日(月)から4月7日(金)までに、公益社団法人東京都看護協会 選挙管理委員会 事務局まで届け出てください。所定の様式が必要な場合は、右記までご連絡くださいますようお願いいたします。

公益社団法人  
東京都看護協会  
選挙管理委員会事務局

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿  
四丁目2番19号

TEL:03-6300-0730(代)

### 改選役職名及び改選数

役職名	改選数
副会長(保)	1
副会長(看)	1
専務理事	1
常務理事	1
職能理事(助)	1
職能理事(看)	1
地区理事(西部)	1
地区理事(南部)	1
地区理事(多摩北)	1
監事	1

## あなたのお写真で会報表紙を飾りませんか?

### 【テーマ】

「東京」で撮影した風景写真など東京の魅力を感じ再発見できるような写真。

応募資格: 東京都看護協会 会員

### 応募規定

- 1 応募者本人が東京都内においておおむね1年以内に撮影したもの
- 2 オリジナル作品。盗用不可
- 3 電子データ JPEG形式。縦位置写真。合成不可
- 4 応募の際はファイルサイズ5MB以下のデータを送付ください。採用後改めて解像度の高いデータ送付をお願いします。
- 5 人物写真不可

その他詳細応募規定、応募先、応募方法につきましてはウェブサイトをご確認の上、ご応募ください。皆様のご応募お待ちしております。

応募締切: 2023年6月23日(金)

<https://www.tna.or.jp/nurse/enrollment/newsletter/cover/>



採用の方には  
図書カード  
プレゼント!

### 写真タイトル

心地よい風を感じ

### 撮影者

かわぐちたま  
川口珠生様

散歩している際に公園を見つけ、何気なく入ってみるとまるで異国に来たかのような堂々たる風車に心奪われました。桜が散り始め、緑豊かな夏の訪れも感じられ、仕事のリフレッシュができました。

〈浮間公園〉  
板橋区舟渡二丁目、  
北区浮間二丁目  
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index009.html>



## 会員サービス係からのお知らせ

2023年度 会員数 45,485人  
会員募集中!  
2023年2月6日現在



キャリアナース

Twitter はじめました!  
  
@Tokyo\_Nursing

### 会員情報に変更はございませんか?

勤務先、ご住所、お名前など会員情報に変更ある場合はお早めに会員専用ページ「キャリアナース」より変更手続きをお願いします。

### 新型コロナウイルス感染症見舞金給付終了のお知らせ

当協会では、新型コロナウイルス感染症に感染したことにより就業不能となった当協会会員の看護職への見舞金給付制度を設けていましたが、2023年3月31日をもって終了いたします。申請希望者は公式webサイトをご確認ください。 <https://www.tna.or.jp/>

発行  
公益社団法人  
東京都看護協会

〒160-0023  
東京都新宿区  
西新宿4-2-19  
<https://www.tna.or.jp/>  
TEL.03-6300-0730(代)

発行人  
柳橋礼子

編集協力  
株式会社 物語社

令和5年(2023年)  
3月15日発行